

# 「笑顔、気くばり、つたえあい」

鶴沼小学校 校長 中 村 浩



鶴沼地区青少年育成協力会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。また、鶴沼地区全体の子どもたちの健全育成にもご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は鶴沼地区に管理職として着任してから、鶴洋小学校4年、鶴沼小学校3年目と7年にわたりお世話になっております。この間、青少協の皆様には江ノ島水族館に子どもたちを連れて行っていただいたり、ウォークラリーを実施していただいたり、公民館まつりでは、毎年射的を催していただいたりして子どもたちの経験や楽しみに貢献していただいております。

また、毎月の「おかえりなさいパトロール」や「年末環境パトロール」など、子どもたちの安全安心にも貢献していただいている姿を目の当たりにしてきました。

鶴沼小学校は「笑顔 気くばり つたえあい」

を学校教育目標とし、重点目標は「『なぜ、どうして』と進んで考える子どもの育成」としています。

重点項目の「『なぜ、どうして』と進んで考える子どもの育成」は、身近な事象に興味を持ち、自分の考えを持つことです。そして、多様な友だちの考えを聞いて、自分の考えに自信が持てたり、修正してさらに良いものになったりすることは「学校という場でしかできない学び」です。

本校でも、昨年度から学校運営協議会（コムスク）が発足し、学校と保護者、地域が連携して鶴沼の子を育てていくことが目指されています。先生や自分の親以外の世代をこえた多様な大人から子どもが学ぶことはたくさんあります。しかし、関わり合いのない人から学ぶのは難しいことです。前任校の鶴洋小学校は「笑顔」が重点目標にあります。鶴沼小学校にも学校教育目標に「笑顔」があります。「笑顔」は相手を安心させます。そして、人の輪の中心には必ず「笑顔」の人がいます。

私が青少年育成協力会の皆様の活動を垣間見させていただき感じたことは、この地区のあたたかさ、人と人のつながりの広さや深さです。あたたかい「笑顔」で子どもたちの安全を見守ってくださる方々に校長として大変感謝しております。そんな地区で育つ鶴沼小の子どもたちはとても恵まれているなど実感しています。

これらの世代をこえた活動により子どもたちは地域で育ち、また地域に貢献するようになります。学校も地域の中にあります。今後も学校と保護者、地域が連携しながら子どもたちを育て、いつまでもあたたかく、「笑顔」で居心地の良い鶴沼地区であるよう願っています。

